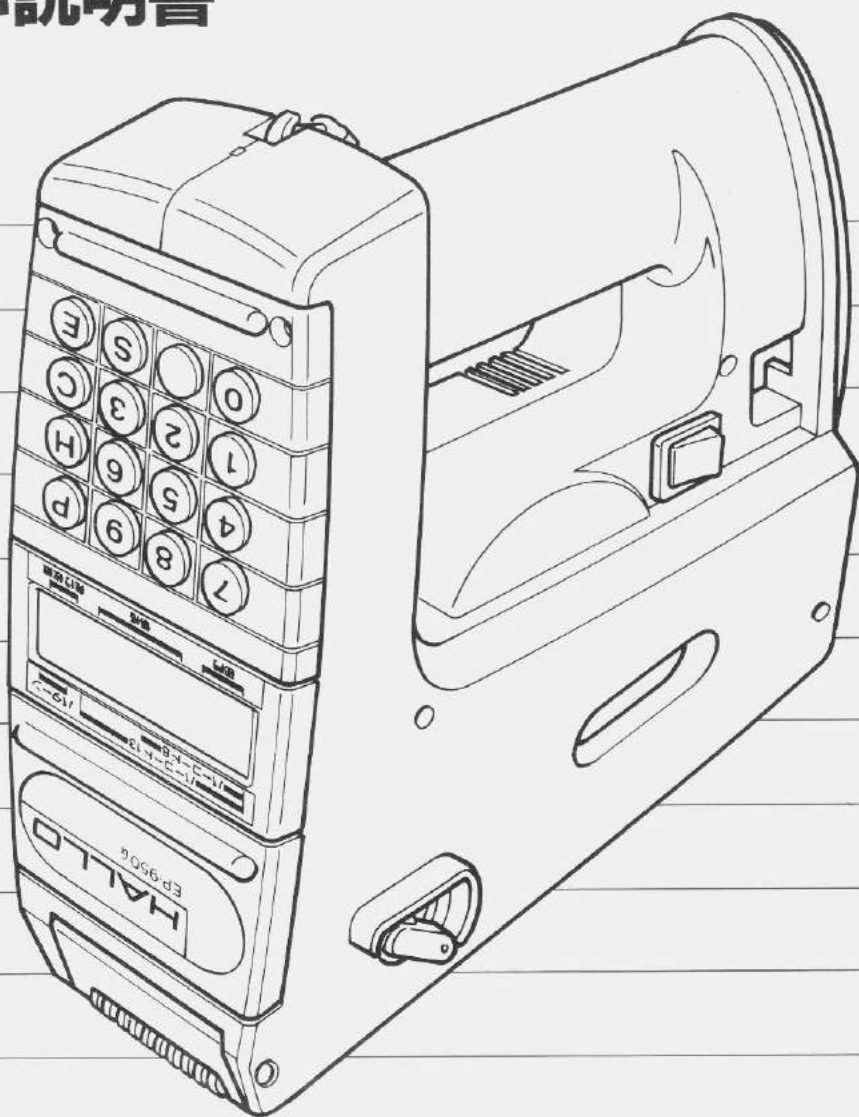


# HALLO

## EP-900G/950G

ELECTRONIC  
BARCODE  
PRINTER

### 取り扱い説明書



## はじめに

この度は、ハローEP-900G/950Gをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ハローEP-900G/950Gは、最新鋭のエレクトロニクス技術と卓越した経験をもとに開発された、バーコードハンドラベラーです。

ご使用に当たり、この取扱説明書を十分お読みいただき、ハローEP-900G/950Gを正しく有効にご活用下さるようお願いいたします。

# 本製品をより安全にご使用いただくために

## 安全上の注意

グリップバッテリー／バッテリーパックの出力端子(金属板)を、金属などで絶対にショートさせないで下さい。

- 瞬間に大電流が流れて、火傷をするほど過熱し、最悪の場合、出火する可能性があります。
- 分解しないで下さい。ショートと同じ結果になります。



グリップバッテリー／バッテリーパックの出力端子(金属板)に、さわらないで下さい。

- 12Vですが、感電します。



バッテリーパック・AC/DCコンバーターの放熱孔に、物を突っ込んだりして、ふさがないで下さい。

- 熱が逃げずに過熱して、最悪の場合、出火する可能性があります。
- プリンター本体に、ホコリや異物が入らない環境でご使用下さい。



コンバーターを介して、AC電源で使用した場合には、使用後ACアダプタのプラグを、電源コンセントから抜いて下さい。

- プラグを抜かないと、プリンター本体のパワースイッチをOFFにしても、コンバーターには電流が流れています。
- ※他の要因(例えば、コードの疲労→断線→ショート)との組み合わせで、最悪の場合、出火する可能性があります。
- ※差し込み部に、ホコリがたまり、湿気などの悪条件が重なると、ショートして出火する可能性があります。



目

次

---

●はじめに	
●安全上の注意	
1. 取扱上の注意	1
2. 各部の名称と機能	2
3. キーボード部の名称と機能	4
4. グリップバッテリーの充電	6
5. グリップバッテリーの本体との着脱	7
6. ラベルのセット	
剥離発行	8
ノンセパレート (台紙付) 発行	11
7. 各モードの名称と機能及びその選択	12
8. 操作方法 (別売りのペンスキャナーを使用しない場合)	
ノーマル発行	14
プリセットの登録	18
プリセットからの発行	22
プリセットの変更	24
9. ペンスキャナー (別売) の使用方法	28
10. データー通信	
プリセットデーターの転送 (送信)	35
プリセットデーターの受信	36
11. 電源仕様が、携帯型のバッテリーパックの場合	37
12. 日常の点検及び清掃	38
13. 特殊プリントパターン表	40
14. 文字リスト	42
15. 作動不良と点検箇所の早見表	43
16. 仕様一覧	44
17. オプション	45
電波障害自主規制 / バッテリーリサイクル	46

# 1. 取扱上の注意

1. 初めてご使用になる際は、必ずバッテリーを十分に充電してから作業を開始して下さい。
2. ラベルをセットしない状態で「ラベル発行」を行わないで下さい。印字ヘッドを損傷することがあります。
3. 一時的に作業を中断する場合でも使用後は必ず電源を切って下さい。電池の消費に影響します。
4. 落としたりぶつけたりして「強いショック」を与えないで下さい。
5. 本体に水やホコリがかぶらないよう注意して下さい。
6. 極端な温湿度の条件下ではご使用を避けて下さい。  
使用温湿度：+5°C～+35°C  
25%～80%
7. 冷暖房機の近くや直射日光の当たる場所に放置したり保管しないで下さい。  
保存温湿度：-8°C～+40°C  
5%～85%  
但し結露しないこと
8. ラベルの通路にノリやゴミが付着してきたら、アルコールで清掃して下さい。
9. ラベルを2種類（24mm幅、32mm幅）併用する場合は、特にラベルのセット方法に注意して下さい。
10. バッテリーを充電する際は必ず規定の充電時間を守って下さい。  
なお、ご使用直後の熱いバッテリーは冷えてから充電して下さい。
11. 1) EP-900G/950Gは、ヘッドチェック機能があり、異常があるとパワースイッチをONにした時に下記の警告がディスプレイに表示されます。

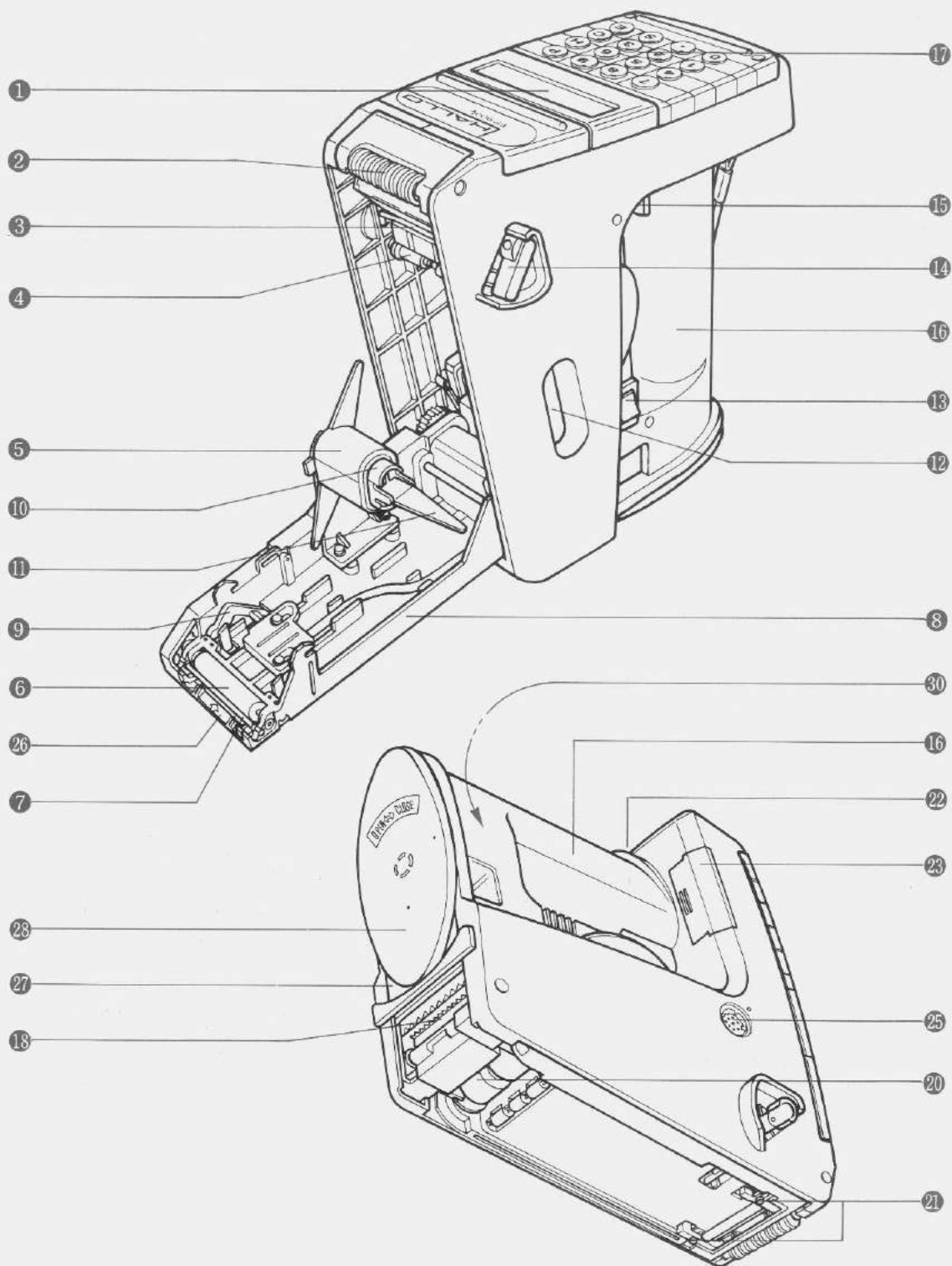
ヘッド " チェック !

2) バックアップ電池により各種データーを保持しています。このバックアップ電池の電圧が低下しますと下記の警告がディスプレイ上に表示されます。

フ°リセット カ" キエマス !  
サービ" スコール シテクタ" サイ

上記1)、2)の警告メッセージが表示された場合は、至急お買い上げいただいた販売店にサービスコールをして下さい。  
なお、バックアップ電池の寿命は、使用状態により異なりますが、3年を目安にして下さい。

## 2. 各部の名称と機能



番号	名 称	機 能
①	液晶ディスプレイ	メッセージやキー入力内容の表示部です。
②	先端ローラー	ラベリングの際、発行されたラベルを貼付けるローラーです。
③	印字ヘッド	印字を行うところです。日常清掃が必要です。
④	ラベル ガイドローラー	横幅の異なる2種類のラベルが使えるように、左右にスライド出来るようになっています。
⑤	ラベルホルダー	巻かれたラベルを保持し、横幅の異なる2種類のラベルが使えるように、左右に移動出来るようになっています。
⑥	プラテンローラー	印字をする際、印字ヘッド③を受けているところです。
⑦	剝離ピン	印字後のラベルを1枚ずつ台紙から剝すところです。
⑧	ボトムフレーム	ラベルのセット後、プラテンローラー⑥をラベルを介して印字ヘッド③に押付ける底ブタになっています。
⑨	チェンジレバー	剝離発行と台紙付発行とを切り換える操作部です。
⑩	ラベルホルダー アジャスター	ラベルガイドローラー④と同様に左右に移動し、ラベルホルダー・ウイング⑪の位置をラベルの幅に合わせられるようになっています。
⑪	ラベルホルダー ウイング	ラベルガイドローラー④と同じ機能で、ラベルセットの時は、図のように手前に倒せます。
⑫	ラベル窓	ラベルの残量を確認します。
⑬	パワースイッチ	スイッチをON側にすると電源が入ります。
⑭	ロックアーム	ボトムフレーム⑧を開閉させるためのアームです。
⑮	スタートスイッチ	ラベル発行のスタートまたはストップをこのスイッチで行います。
⑯	グリップ	この内部にグリップバッテリー⑳を装着し、この部分を持ってラベリングをします。
⑰	キーボード	各データーをここから入力します。
⑱	テープカッター	長くなった台紙をここで切ります。
⑳	ラベル挿入口	ラベルセットの際、ここに台紙の先端を挿入します。
㉑	幅ガイド	横幅の異なる2種類のラベルが使えるようにビスを緩めれば、左右に移動出来るようになっています。
㉒	パイロットランプ	パワースイッチ⑬がONの状態の時、点灯します。
㉓	Dサブコネクター	通信用コネクターです。
㉔	ペンコネクター	ペンスキャナー用コネクターです。
㉕	ラベル取り受部	印字後、剝離ピン⑦で剝離されたラベルを、貼付けるまで一時仮受けするところです。
㉖	リヤカバー	バッテリーパック収納部のスライド可能なカバーです。
㉗	リヤステイ	リヤカバー㉖上で90°回転可能であり、その回転状態で、本体をキーボード面を上にして安定的に載置出来、また、リヤカバー㉖のスライドを可能にします。
㉘	グリップバッテリー	Ni-Cd電池が内蔵された電源です。

### 3. キーボード部の名称と機能

7	8	9	P
4	5	6	H
1	2	3	C
0	.	S	E

#### データキー

##### ⑦ ~ ⑨ 数字キー

バーコード及びその他の数値を入力する時のキーです。

##### ① ピリオドキー

バーコード以外のデータ入力中に点（・）を入力する時のキーです。

##### ② スペースキー

バーコード以外のデータ入力中にスペースを入力する時のキーです。

#### ファンクションキー

##### ③ 初期画面キー

プリントパターンNo入力以外の時に各モードの初期画面に戻るキーです。

##### ④ ステップバックキー

- ① 各項目のデータ入力後、訂正のため前の項目に戻る時のキーです。
- ② 発行枚数の入力はラベル発行待ちの状態でのこのキーを押します。

##### ⑤ クリアキー

各項目でデータを訂正する時のキーです。

##### ⑥ エンターキー

- ① 各項目のデータ入力を確定し、次の項目に移動する時のキーです。
- ② ラベル発行待ちの時は、ラベル発行スタートキーとしても機能します。

##### ⑦ 登録確認キー

登録・変更モードの最終画面でこのキーを押すと、品名の確認が出来ます。



## 品名入力時のファンクションキー

### ④ ⑥ 移動キー

画面の文字リストから文字を選ぶ時に、カーソルを左右に移動させるキーです。

④ を押すと左方向に、⑥ を押すと右方向に、どちらも押し続けると文字リストも変わります。

### ② ⑧ 移動キー

文字リストを変更するキーです。② は正方向の送り、⑧ は逆方向の送りです。

押し続けると夫々の方向にスクロールします。

### ⦿ 文字固定キー

このキーを押すと、カーソル点滅位置の文字が画面上段に固定されます。

### ○ カーソル移動キー

① 入力途中で固定した文字を訂正する時に使用するキーです。

このキーを押すと、画面上段にカーソル点滅が移り、④、⑥ キーで訂正したい文字にカーソルが移動出来ます。

②次にこのキーを押すと、カーソルは画面下段に戻ります。文字リストの正しい文字にカーソルを移動させ ⦿ キーで訂正します。

### Ⓒ クリアキー

① ⑤ キーと併用し、固定した文字にカーソルを移動し、抹消することが出来ます。

②文字入力中にこのキーを押すと、スペースキーとして利用出来ます。

### Ⓗ ステップバックキー

文字入力中にこのキーを押すと、画面上段のカーソルが消え、最初の文字にカーソルが戻ります。

但し、この時にカーソルは表示されません。文字の訂正に利用すると便利です。

# 4. グリップバッテリーの充電

型式：BG-45B(EP-900G/950G専用)

## 1 充電が必要な時

- ①パワースイッチをONした時、一度液晶ディスプレイに表示が現れたがすぐに消えてしまった。
- ②ラベル発行中に作動が停止し、液晶ディスプレイに「デンチガ オワリマシタ」と表示が現れアラームが鳴り出した。

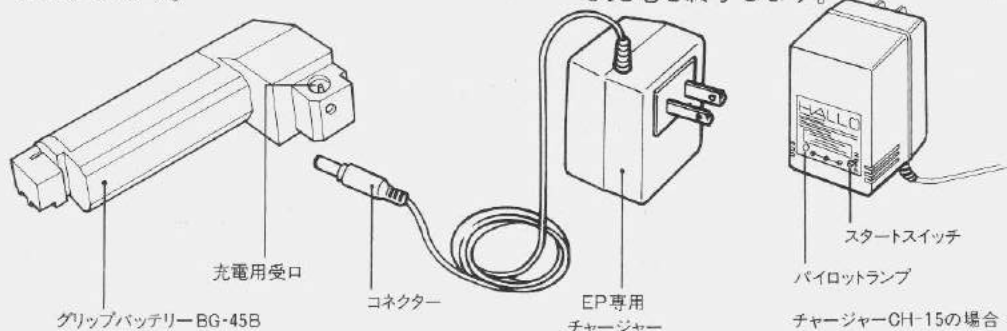
## 2 充電の仕方

### (1) バッテリーチャージャーCH-15をご使用の場合

- ①チャージャーCH-15をAC100Vのコンセントに差し込みます。
- ②グリップバッテリーBG-45Bの充電用受口に、チャージャーのコネクターを差し込みます。
- ③チャージャーのスタートスイッチを押し
- ④約40～90分で充電は完了し、充電ランプ(赤)が消えます。この時充電スイッチも自動的にOFFになりますので、過充電の心配はありません。

### (2) バッテリーチャージャーCH-20をご使用の場合

- ①チャージャーCH-20をAC100Vのコンセントに差し込みます。
- ②グリップバッテリーBG-45Bの充電用受口に、チャージャーのコネクターを差し込みます。
- ③約40～90分で充電は完了し、充電ランプ(赤)が消え、自動的にトリクル充電(緑ランプ点灯)となります。トリクル充電になりましたら、コネクターを抜き充電を終了します。



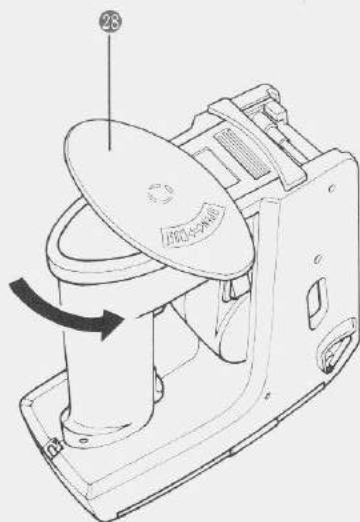
## 注意

1. グリップバッテリーが本体に装填された状態では、充電は出来ません。
2. 充電後、長時間放置すると、自然放電して充電量が減少しラベルの発行数が少なくなります。
3. グリップバッテリーへの充電は「デンチガ オワリマシタ」とエラー表示が現れてから、充電して下さい。充電を頻繁に行くと電池の寿命が短くなります。ご使用直後の熱いグリップバッテリーは、冷やしてから充電して下さい。

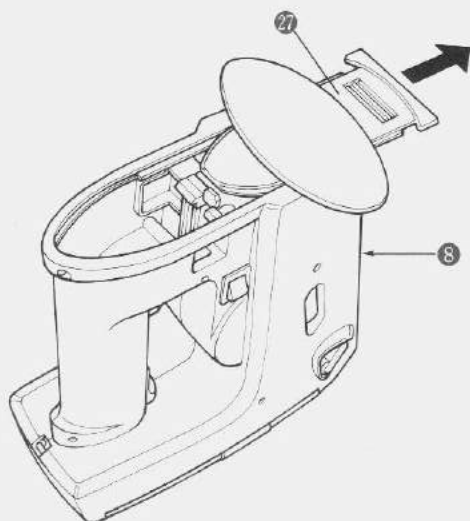
## 5. グリップバッテリーの本体との着脱

### A 装着

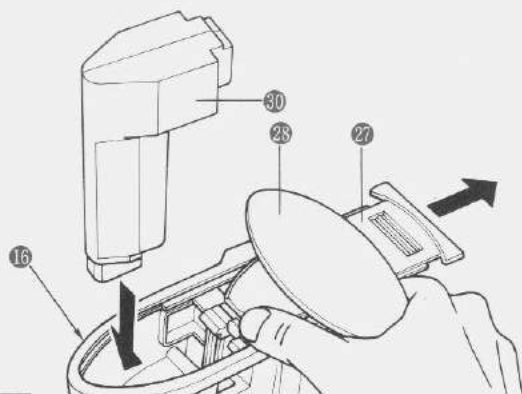
- 1 本体をキーボード面が下になるようにして、リヤステイ<sup>26</sup>をOPEN矢印方向の左へ90°回転させます。



- 2 これでリヤカバー<sup>27</sup>がスライド可能になりましたので、カバーをボトムフレーム<sup>8</sup>の方向にスライドさせます。



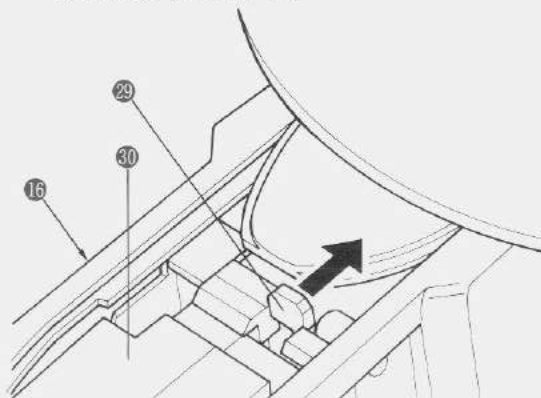
- 3 これでグリップ<sup>16</sup>が開口しましたので、グリップバッテリー<sup>30</sup>を最後にカチャと音がしてロックされる場所まで押し込みます。



- 4 そして、リヤカバー<sup>27</sup>→リヤステイ<sup>26</sup>を元の状態に戻せば、装着完了です。

### B 取り外し

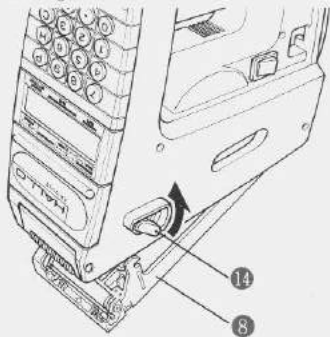
- ※ グリップ<sup>16</sup>を開口させた状態で、電池係止フック<sup>29</sup>を矢印方向に押しすと、グリップバッテリー<sup>30</sup>がピョコンと浮き上がりますので、あとは摘んで引き上げれば取り出せます。



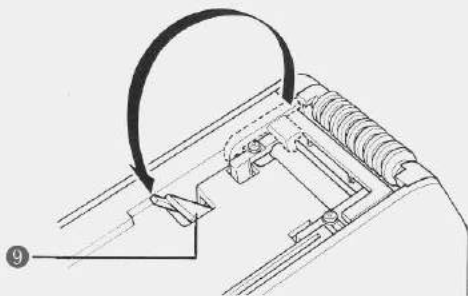
# 6. ラベルのセット

## 1 剥離発行

- 1 ロックアーム ⑭ を左右同時に矢印の方向に押し、ボトムフレーム ⑧ が開きます。

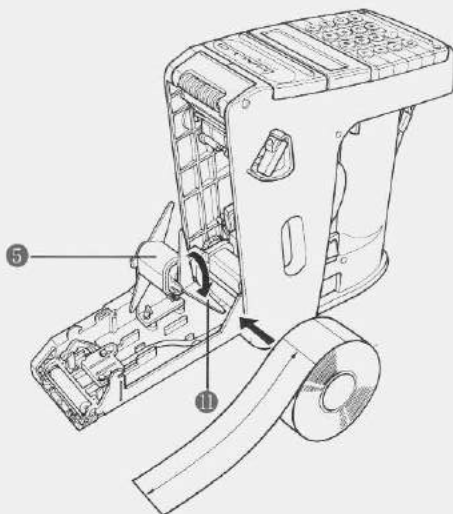


チェンジレバー ⑨ を図の矢印のように起こして、剥離状態にセットします。

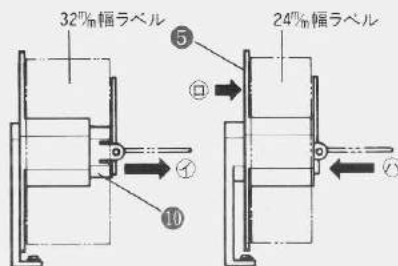


- 2 ラベルを先端から約15cm剥して、台紙だけの状態にします。

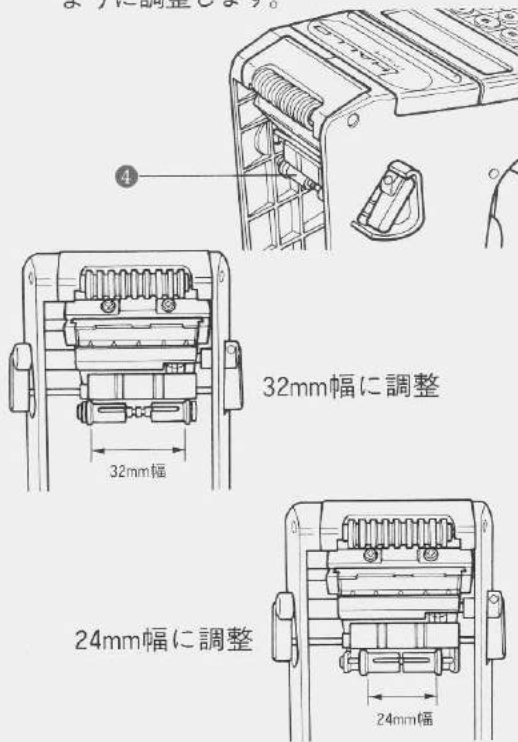
- 3 ラベルホルダー・ウイング ⑪ を矢印の方向に倒して、巻かれたラベルをラベルホルダー ⑤ に納め、⑪ を元の状態に戻します。



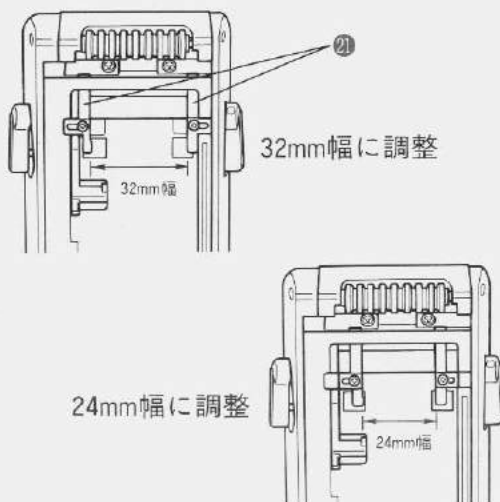
- 32mm幅のラベルを使用する場合  
下図のようにラベルホルダー・アジャスター ⑩ を矢印の方向に止まるまで引き出してセットして下さい。
- 24mm幅のラベルを使用する場合  
ラベルホルダー ⑤ を矢印の方向に移動し、⑩ は32mm幅の位置から1段階戻して(矢印ハ)セットして下さい。  
ラベルが本体の中心にセットされているか、必ず確認して下さい。



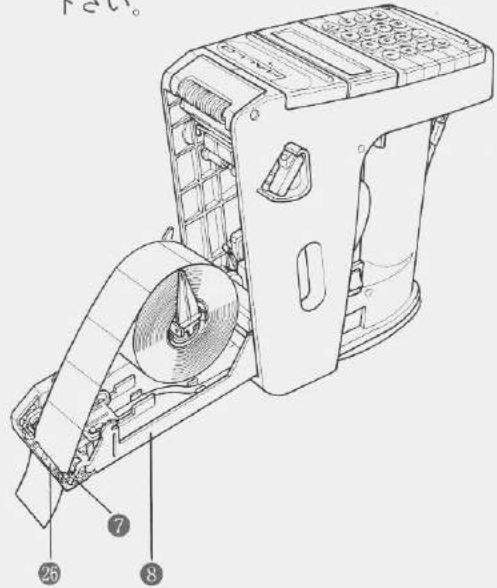
- 4** 下図のようにラベルガイドローラー④と幅ガイド②をラベルの横幅に合うように調整します。



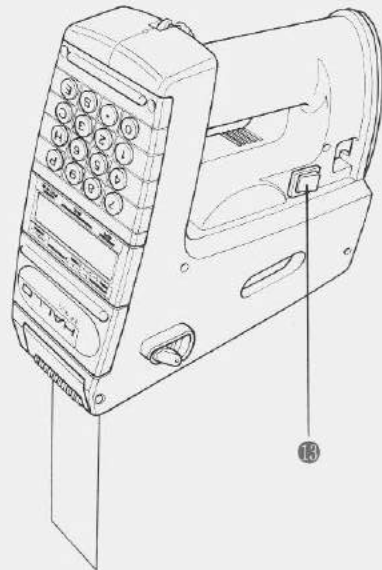
ボトムフレームの底面にある幅ガイドの調整



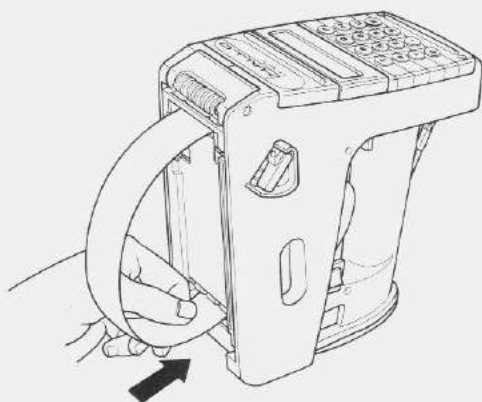
- 5** 次に台紙を、ボトムフレーム⑧の先端の矢印(ラベル仮受け部②⑥のところ)と剝離ピン⑦との間に通し、台紙だけの部分を引き出して、⑧を閉めて下さい。



- 6** パワースイッチ⑬を押して電源を入れます。



- 7** パワースイッチをONすると、液晶ディスプレイに前回使用していたモードの初期画面が表示されます。  
ラベル台紙の先端を、下図のように左手で摘み、ラベル挿入口へ矢印のように差し込みながらスタートスイッチを押して下さい。ラベルは自動的に装填されます。台紙のたるみがなくなり、白紙のラベルが1枚発行され、自動的に止まってラベルセットは完了です。



- 8** 台紙のたるみが多過ぎたり、台紙を挿入するタイミングが遅れた時は、台紙がたるんだ状態で紙送りが止まり“ピッピーピッピー”とアラームが鳴り出し、液晶ディスプレイに

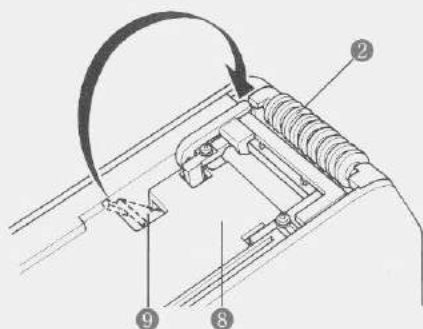
ラベルカクニ セイカクニ  
セットサレテイマセン

と言うエラー表示がされます。その時は **P** キーを押して、前項1～5までの操作に誤りがないか確認し、6～7項の操作を繰返して下さい。

## 2 ノンセパレート(台紙付)発行

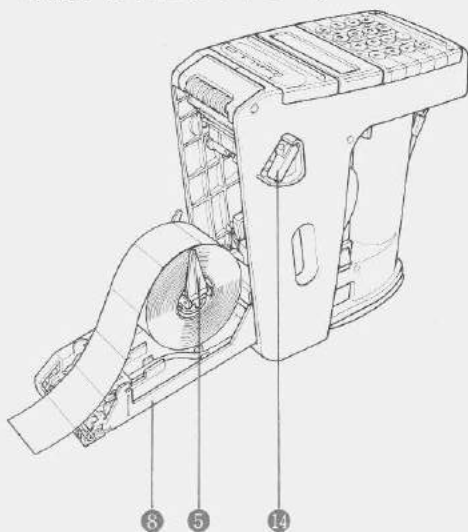
### 1 セットの仕方

ボトムフレーム **8** の外側に装備されているチェンジレバー **9** を、図の矢印のように起こして先端ローラー **2** の方へセットします。

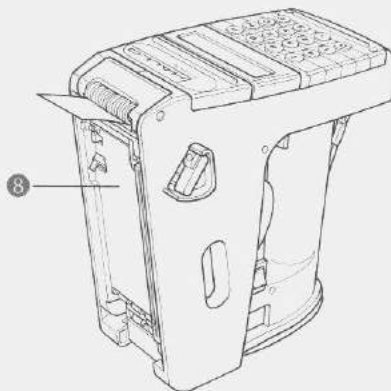


### 2 ラベルのセット

(1) ロックアーム **14** を押してボトムフレーム **8** を開き、ラベルをラベルホルダー **5** にセットします。先端のラベルは剣す必要はありません。ラベルの先端が、**8** より約1枚分はみ出すようにして下さい。



(2) ボトムフレーム **8** を強く押しつけるようにして、元通りに閉めて下さい。ラベルの先端は、図のような位置にある筈です。



### 3 ラベルの位置合わせ

**1 2** の操作が完了したら、パワースイッチをONにして、スタートスイッチを押します。自動的にラベルの位置合わせが完了します。

# 7. 各モードの名称と機能及びその選択

## ① モードの種類と機能

※EP-900Gには、確認画面と4種類の動作モードがあります。各モードの名称と機能は、次の(1)~(4)の通りです。

### 確認画面

バッテリー容量の確認が出来ます。

\*使用電源の選択 (P93) で、コンバーターを選ぶと確認画面は表示されません。

#### (1)メニューモード

使用するモードの選択を行います。

#### (2)ヨビダシモード

①予め登録(プリセット)しておいたプリセットデーターを、呼び出しNo.で呼び出して、ラベル発行を行います。

②プリセットの登録及び変更を行います。

#### (3)プリントモード

①パターンNo.を入力することにより、そのパターン内容に従って各データーをキーボードから入力して、ラベルの発行を行います。

②特殊パターンの各種サービスを行います。

#### (4)ツウシンモード

(別売のデーター転送ケーブル(DC-09)、または通信ケーブル(DC-08)が必要です)

##### ①テンソウモード

EP-900Gに登録されているプリセットデーターを、他のEP-900G、またはパソコンに転送します。

##### ②ジュシンモード

プリセットデーターを、EP-900G、またはパソコンより受信します。

※EP-950Gには、更に2つの動作モードがあり、その名称と機能は、次の(5)(6)です。

#### (5)ペンモード(別売りのペンスキャナー(NP-01)が必要です)

ペンスキャナーによりバーコードを読取り、他の項目はキーにより入力して、ラベルを発行します。

また、「(2)ヨビダシモード」の呼び出しが、ペンスキャナーでバーコードを読取ることにより可能です。

#### (6)マークダウンモード(別売りのペンスキャナー(NP-01)が必要です)

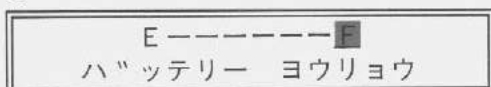
ペンスキャナーにより読取ったバーコード(NON PLU)の中の価格を、所定の演算をし、マークダウンして(奉仕価格にして)ラベルを発行します。



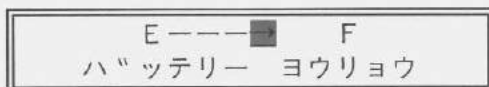
## 2 確認画面

パワースイッチをONにすると、1秒間バッテリー容量を表示します。

①



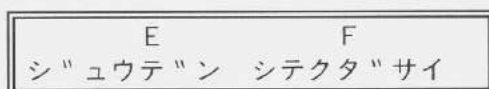
②



③



④



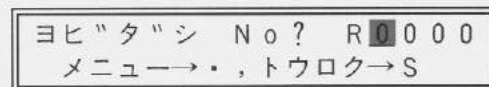
## 3 初期画面

各モードの初期画面は次の通りです。

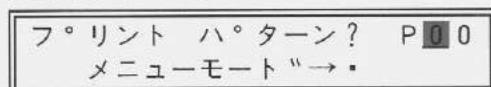
①メニューモード



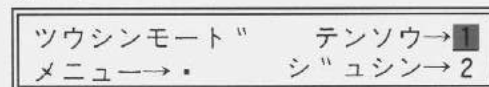
②ヨビダシモード



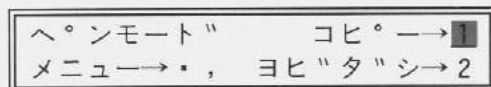
③プリントモード



④ツウシンモード



⑤ペンモード(EP-950Gのみ)



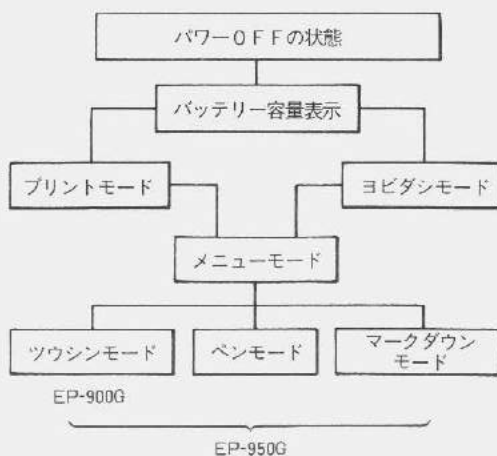
⑥マークダウンモード(EP-950Gのみ)



## 4 各モードの選択方法

パワースイッチをONにすると、バッテリー容量を1秒間表示し、前回OFFにする時まで使用していたモードになります。モードを変更する時は、**⊙** キーを押します。

**⊙** キーを押すと、メニュー画面になり各モードを選択出来ます。



## 8. 操作方法(別売のペンスキャナーを使用しない場合)

### 1 ノーマル発行


パターンNo.の入力からラベル発行までの操作方法について、右に示すサンプルラベルの発行を例に具体的に説明します。  
使用するパターンNo.によって、桁数や入力項目が異なりますが、基本的な操作はここで説明する例と同じ方法で行えます。  
ディスプレイの表示をよく確認して、正確に操作して下さい。



### 1 パワースイッチONとモードの選択




フ°プリント ハ°ターン? \* P 01  
メニューモード " → •

「プリントモード」の初期画面

パワースイッチをONにします。  
ディスプレイに、前回まで使用していたモードの初期画面を表示します。  
表示された画面が左図と違う場合は、キーを押し「メニューモード」にして「プリントモード」にします。











### 2 パターンNo.の入力

フ°プリント ハ°ターン? \* P 01  
メニューモード " → •

パターンNo.の入力待ちの状態です。  
表示の中のP01は前回まで使用していたパターンNo.です。  
ここでは、No.27のパターンを使います。  
   とキーを押します。

### 3 品番、日付の入力

ヒンハツン etc? P 27  
■ → E

品番、日付などの入力待ちの状態になりました。  
ここでは、製造年月日時間を入力します。  
          
 とキーを押します。

#### 4 フラッグ・メーカーコードの入力

F+メーカーコード" ?	P 2 7
■ → E	

バーコードの入力待ちの状態になりました。  
サンプルラベルでは次のようなバーコード  
になっています。

4 9 1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 9

フラッグ メーカーコード アイテムコード C/D

[フラッグ+メーカーコード]と[アイテ  
ムコード]を2回に分けて入力します。

④⑨①②③④⑤Eとキーを押します。

#### 5 アイテムコードの入力

アイテムコード" ?	P 2 7
4 9 1 2 3 4 5 ■	→ E

アイテムコードを入力します。

①②③④⑤⑨Eとキーを押します。

なお、チェックデジットを自動計算で行う  
場合は①②③④⑤Eとキーを押し  
ます。

#### 6 部門コードの入力

フ"モン?	P 2 7
■ → E	

部門コードの入力待ちの状態です。

サンプルラベルの通り入力します。

②⑤⑩Eとキーを押します。

#### 7 売価の入力

ハ"イカ?	P 2 7
¥■ → E	

売価の入力待ちの状態になりました。

サンプルラベルの通り入力します。

①⑤⑧⑩Eとキーを押します。

## 8 発行枚数の入力/ラベルの発行

4 9 1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 9 P 2 7
2 5 0 * ¥      1 5 8 0 * 0 0 0

ラベル発行待ちの状態になりました。

### ①ラベルを1枚ずつ発行する場合

発行枚数は入力操作の必要がありません。

スタートスイッチ を押せばラベルが発行されます。

### ②ラベルを台紙付きで発行する場合

ハッコウ    マイスウ?                    P 2 7
0 0 → E



4 9 1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 9 P 2 7
2 5 0 * ¥      1 5 8 0 * 0 3 0

ラベル発行待ちの状態では H キーを押すと左図のような表示がディスプレイに現れます。

例えば、③ ① と入力して E キーを押します。

スタートスイッチ を押してすぐに離します。

発行枚数表示が発行毎に減算カウントして、000で発行を停止します。

発行の途中で停止する場合は、再度スタートスイッチを押します。

### 注意

台紙付きのラベル発行には、ノンセバレート発行の操作が必要です。

## 9 他のラベルの発行

- 同じパターンNo.で入力内容を変更して発行を続ける場合は、H キーを押します。H キーを押す度毎に、「発行枚数」→「売価」→「部門」→「アイテムコード」→「フラッグ+メーカーコード」→「品番」と順に各入力項目に戻り、訂正が出来ます。
- 違うパターンNo.でラベル発行を続ける場合は、P キーを押します。画面がパターンNo.の入力待ちの状態に戻りますので、(2)~(8)の操作を繰り返して下さい。
- 各項の入力待ちの状態、すでに入力してある数値を変更しない時は、各項目とも E キーを押せば、次の入力項目に移動することが出来ます。

## 10 NON-PLUタイプのパターンNoを使用する場合の入力方法

NON-PLUでは、売価がバーコードの一部に含まれていますので、「フラッグ+アイテムコード」を次のように区切って入力します。

F + アイテムコード " ?	P 3 2
0 2 1 2 3 4 5 ■ E	

フラッグ+アイテムコードを入力した所の画面です。

Ⓔ キーを押します。

ハ"イカ?	P 3 2
¥ ■ → E	

この画面で売価を入力して Ⓔ キーを押すと、バーコードと価格の両方の項目が入力されます。

売価以外の入力は、前記パターンNo.27の例と同様の操作方法で行います。

## 11 作業の終了

ラベル発行作業が終わりましたら、パワースイッチをOFFにして作業を完了します。

## 2 プリセットの登録

〈例題〉 パターンNo.44

登録 No.1

品名：イヨカンL3

### 1 パワースイッチONとモードの選択

ヨビタシ No? R 0 1 2 0  
メニュー→・, トウロク→S

「ヨビダシモード」の初期画面

パワースイッチをONにします。  
ディスプレイに前回まで使用していたモードの初期画面を表示します。

表示された画面が左図と違う場合は、

① キーを押し「メニューモード」にして  
「ヨビダシモード」にします。

② キーを押し、「登録・変更モード」に  
切り替えます。

### 2 登録・変更の選択

トウロク 1 0 6 → E  
ヘンコウ 2 0 6 → E

登録または変更の選択待ちの状態です。  
ここでは、登録を行います。

① ② ③ ④ E とキーを押します。

### 3 プリントパターンNo.の登録

トウロク ハ° ターン? \* \* P 3 5  
カクニンシテ E ヲオス

パターンNo.の入力待ちの状態です。  
P35は、前回まで使用していたプリントパターンです。プリントパターン表から使用するパターンNo.を選んで入力します。ここでは、④ ④ E とキーを押します。

### 4 登録No.の設定

トウロク No? R 0 1 2 0  
カクニンシテ E ヲオス

登録No.の入力待ちの状態です。  
R120は前回まで使用していた呼び出しNo.です。

ここでは1番に登録します。

① E とキーを押します。

#### 注意

登録済みNo.を入力した場合は、右のような表示になり E キーを押すと登録済みの番号が画面にカウントされ、登録No.の空き番が確認できます。

トウロク No? R 0 1 0 0  
トウロクス"ミ テ"ス

## 5 品名の登録

0 0 0 1  
 ■イウエオカキクケコサシスセソタ

0 0 0 1  
 ア■イウエオカキクケコサシスセソタ

イ■ 0 0 0 1  
 ア■イウエオカキクケコサシスセソタ

イ■ 0 0 0 1  
 ム×モヤユヨラリルレロワン"°ー

イ■ 0 0 0 1  
 ムメモヤユヨ■ラリルレロワン"°ー

イヨ■ 0 0 0 1  
 ムメモヤユヨ■ラリルレロワン"°ー

イヨ■ 0 0 0 1  
 アイウエオ■カキクケコサシスセソタ

イヨカ■ 0 0 0 1  
 アイウエオ■カキクケコサシスセソタ

イヨカ■ 0 0 0 1  
 ムメモヤユヨ■ラリルレロワン"°ー

イヨカ■ 0 0 0 1  
 ムメモヤユヨラリルレロワ■"°ー

イヨカン■ 0 0 0 1  
 ムメモヤユヨラリルレロワ■"°ー

品名の入力待ち状態です。

ここでは、「イヨカンL3」と入力します。

⑥ キーを押して、カーソルを「イ」に移動させます。

〈「3. キーボード部の名称と機能」を参照〉

⊙ キーを押して、「イ」を上段画面に固定します。

② キーを押して、文字リストを変換します。

⑥ キーを押して、カーソルを「ヨ」に移動させます。

⊙ キーを押して、「ヨ」を上段画面に固定します。

⑧ キーを押して、文字リストを変換します。

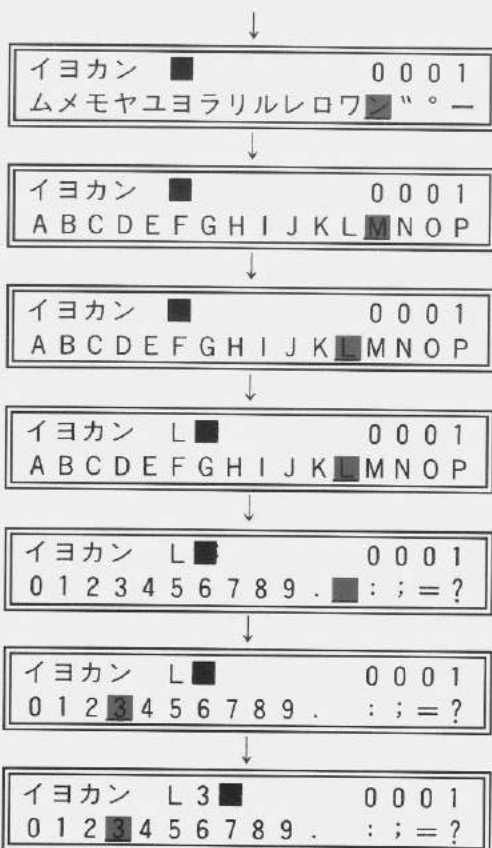
⊙ キーを押して、「カ」を上段に固定します。

② キーを押して、文字リストを変換します。

⑥ キーを押して、カーソルを「ン」に移動させます。

⊙ キーを押して、「ン」を上段に固定します。

Ⓒ キーを押して、スペースを空けます。



⑧ キーを押して、文字リストを変換します。

④ キーを押して、カーソルを「L」に移動させます。

⊙ キーを押して、「L」を上段画面に固定します。

② キーを押して、文字リストを変換します。

④ キーを押して、カーソルを「3」に移動させます。

⊙ キーを押して、「3」を上段画面に固定します。

文字を確認して、**E** キーを押せば品名入力、完了です。

## 6 フラッグ、分類コードの登録

F + フラッグイコート " R 0 0 0 1  
 ■ → E

フラッグと分類コードの入力待ちの状態です。

例えば、F + 分類コードを212とします。

② ① ② **E** とキーを押します。

## 7 売価の登録

ハ イカ ? R 0 0 0 1  
 ¥ ■ → E

売価の入力待ちの状態です。

例えば、売価を1980円とします。

① ⑨ ⑧ ⑩ **E** とキーを押します。

## 8 部門の登録

フ モン ? R 0 0 0 1  
 ■ → E

部門の入力待ちの状態です。

例えば、部門を123とします。

① ② ③ **E** とキーを押します。



## 9 登録データの確認と登録の完了

イヨカン L3 \*\*\*→**E**  
123\*¥1980\*\*R0001

↓  
21219801\*\*\*\*\*→**E**  
123\*¥1980\*\*R0001

↓  
\*トウロク No? \*R0002  
カクニンシテ E フオス

登録する内容の表示です。

品名以外を確認したい時は、ここで **S** キーを押します。

再度 **S** キーを押すと前の画面に戻ります。

**E** キーを押し登録を完了します。

登録Noは、自動的に繰上がりします。

但し、任意番号の入力も可能です。

続けて登録する場合は、前項(5)~(9)の操作を繰り返して下さい。

### 注意

プリントパターンNoを変更する場合は **P** キーを押して、前項(1)からの登録操作を行なって下さい。

## 10 パワースイッチOFF

登録作業が終わりましたら、パワースイッチをOFFにして作業を完了します。

### 3 プリセットからの発行

#### 1 パワースイッチONとモードの選択

ヨビタシ No? R0 20  
メニュー→・, トウロク→S

「ヨビダシモード」の初期画面

パワースイッチをONにします。  
ディスプレイに前回まで使用していたモードの初期画面を表示します。

Ⓞ キーを押し「メニューモード」にして「ヨビダシモード」にします。

#### 2 呼び出しNo.の入力

ヨビタシ No? R0 20  
メニュー→・, トウロク→S

プリセットからの発行は、この画面で行います。

呼び出しNo.の入力は、登録されている番号であればどの番号からでも入力出来ます。例えば、18ページの「2.プリセットの登録」で登録した、呼び出しNo.1のデーターを発行することにします。

① ⓔ とキーを押します。

#### 注意

未登録のNo.を入力した場合は、右のような表示になります。

正しいNo.を入力すれば次の項目のような表示になります。

ヨビタシ No? R9000  
ミトウロク テス

#### 3 価格の変更をする場合としない場合

イヨカン L3 0001  
123\*¥ 980\*\*\*000\*

価格変更の入力待ちの状態です。

##### ① 価格変更をしない場合

イヨカン L3 0001  
123\*¥ 1980\*\*\*000\*

そのまま、ⓔ キーを押すと、ラベル発行待ちの状態になります。

##### ② 価格を変更する場合

イヨカン L3 0001  
123\*¥ 980\*\*\*000\*

例えば、980円に変更します。

⑨⑧①ⓔ とキーを押すと、ラベル発行待ちの状態になります。

## 4 ラベルの発行

### ①ラベルを1枚ずつ発行する場合

発行枚数は入力操作の必要がありません。

**スタートスイッチ** を押せばラベルが発行されます。

### ②ラベルを台紙付きで発行する場合

ハッコウ マイスウ? R 0 0 0 1  
0 0 0 → E

↓  
イヨカン L 3 0 0 0 1  
1 2 3 \* ¥ 9 8 0 \* \* \* 0 3 0

ラベル発行待ちの状態では **H** キーを押すと左図のような表示がディスプレイに現れます。

例えば、**③ ①** と入力して **E** キーを押します。

**スタートスイッチ** を押してすぐに離します。

発行枚数表示が発行毎に減算カウントして、000で発行を停止します。

発行の途中で停止する場合は、再度**スタートスイッチ**を押します。

### 注意

台紙付きのラベル発行には、ノンセパレート発行の操作が必要です。

## 5 パワースイッチOFF

ラベル発行が終わりましたら、パワースイッチをOFFにして作業を完了します。

### 注意

登録No.の印字は、通常では、工場出荷時に標準プリントパターン（品名の入らないパターン）では削除され、品名プリントパターンでは行かれるようにセットされています。

セットを変更する場合は、ラベル発行前に次の操作を行って下さい。

ノーマルモードでパターンNo.94（特殊パターン）を入力し、**E** キーを押すと次の画面が表示されます。

トウロクNo インサツ? P 9 4  
アリ=1 ナシ=0 ヒョウシ ュン

↓  
トウロクNo インサツ? P 9 4  
アリ=1 ナシ=0 (ヒンメイ)

この表示は標準プリントパターンを使用する場合の入力画面です。

印字の有無を選択し **①** または **①** を入力し、**E** キーを押します。

品名プリントパターンを使用する場合の入力画面です。

上記同様 **①** または **①** を入力し、**E** キーを押せばセット完了です。

## 4 プリセットの変更

〈例題〉 登録 No.1

品名:「イヨカンL3」を「イヨカンM3コ」に変更 売価の変更

### 1 パワースイッチONとモードの選択

ヨビタシ No? R 1 2 0  
メニュー→・, トウロク→S

「ヨビダシモード」の初期画面

パワースイッチをONにします。  
ディスプレイに前回まで使用していたモードの初期画面を表示します。

表示された画面が左図と違う場合は、**①** キーを押し「メニューモード」にして「ヨビダシモード」にします。

**②** キーを押して、「登録・変更モード」に切り替えます。

### 2 登録・変更の選択

トウロク 1 0 6 → E  
ヘンコウ 2 0 6 → E

登録または変更の選択待ちの状態です。  
変更を行いますので **②** **①** **⑥** **E** とキーを押します。

### 3 変更No.の設定

\*ヘンコウ No? R 0 0 0 0  
カクニンシテ E ヲオス

変更No.の入力待ちの状態です。  
0~0000までの任意の番号が入力できます。  
例として、呼び出しNo.1を変更することになります。

**①** **E** とキー入力します。

#### 注意

未登録のNo.を入力した場合は右のような表示になります。

登録済みNo.ここでは、**①** **E** と入力すれば、次項の表示になります。

\*ヘンコウ No? R 5 0 0  
ミトウロク テス

#### 4 パターンNo.の変更

トウロク パターン? P 4 4  
 カクニンシテ E フオス

パターンNo.の入力待ちの状態です。  
 P44は、現在登録されているパターンNo.  
 です。  
 ここでは、パターンを変更しませんので、  
 このまま **(E)** キーを押します。

#### 5 品名の変更

イヨカン L 3 0 0 0 1  
**(I)**イウエオカキクケコサシスセソタ

品名の変更待ちの状態です。  
 ここでは、「イヨカン L 3」を「イヨカ  
 ン M 3コ」に変更します。  
 <「3. キーボード部の名称と機能」を参照>

① キーを押して、カーソルを画面の上段  
 に点滅させます。

**(L)**イヨカン L 3 0 0 0 1  
 アイウエオカキクケコサシスセソタ

② キーを押して、カーソルを「L」の位  
 置に移動します。

イヨカン **(3)** 3 0 0 0 1  
 アイウエオカキクケコサシスセソタ

③ キーを押して、カーソルを画面の下段  
 に点滅させます。

イヨカン **(I)** 3 0 0 0 1  
**(I)**イウエオカキクケコサシスセソタ

④ キーを押して、文字リストを変換しま  
 す。

イヨカン **(I)** 3 0 0 0 1  
**(A)** ABCDEFGHIJKLMNOP

⑤ キーを押して、カーソルを「M」の位  
 置に移動します。

イヨカン **(I)** 3 0 0 0 1  
 ABCDEFGHIJKLMNOP**(M)**

⑥ キーを押して、「M」を画面の上段に  
 固定します。

イヨカン M**(I)** 0 0 0 1  
 ABCDEFGHIJKLMNOP**(M)**

⑦ キーを押して、カーソルを画面の上段  
 で点滅させます。

イヨカン M**(3)** 0 0 0 1  
 ABCDEFGHIJKLMNOP

⑧ キーを押して、カーソルを「3の次の  
 位置」に移動します。

↓

イヨカン	M3	■		0001
A	B	C	D	E
F	G	H	I	J
K	L	M	N	O
P				

↓

イヨカン	M3	■		0001
A	B	C	D	E
F	G	H	I	J
K	L	M	N	O
P				

↓

イヨカン	M3	■		0001
アイウエオカ	キクケ	コ	サシ	■
セ	ソ	タ		

↓

イヨカン	M3	■		0001
アイウエオカ	キクケ	■	サシ	セソ
タ				

↓

イヨカン	M3	■	コ	0001
アイウエオカ	キクケ	■	サシ	セソ
タ				

① キーを押して、カーソルを画面の下段で点滅させます。

② キーを押して、文字リストを変換します。

④ キーを押して、カーソルを「コ」の位置に移動します。

⊙ キーを押して、「コ」を画面の上段に固定します。

文字を確認して、ⓔ キーを押せば、品名の変更は完了です。

## 6 フラッグ、分類コードの変更

F+	フ	ン	ル	イ	コ	ー	ト	R	0	0	0	1
■	1	2	→	E								

フラッグと分類コードの変更待ちの状態です。

ここでは変更しませんので、このまま ⓔ キーを押します。

## 7 売価の変更

ハ	イ	カ	?									
¥	■	9	8	0	→	E						

売価の変更待ちの状態です。

例として、1530円に変更します。

① ⑤ ③ ① ⓔ とキーを押します。

## 8 部門の変更

フ	モ	ン	?									
■	2	3	→	E								

部門の変更待ちの状態です。

ここでは変更しませんので、このまま ⓔ キーを押します。

## 9 変更内容の確認

イヨカン	M3	コ		***→	■										
1	2	3	*	¥	1	5	3	0	*	*	R	0	0	0	1

変更した内容の確認表示です。

間違いが無いを確認して、ⓔ キーを押せば変更作業が完了します。

### 注意

Ⓔ キーを押す前に、Ⓕ キーを押すと、右図のように変更した品番などが確認出来、再度 Ⓕ キーを押すと画面が戻ります。

2	1	2	1	5	3	0	8	*	*	*	*	*	*	*	→	Ⓔ
1	2	3	*	¥	1	5	3	0	*	*	R	0	0	0	1	

### 10 変更完了

*	ヘン	コウ	No?	R	0	0	0	0		
	カク	ニン	シテ	E				ヲ	オ	ス

さらに変更を行う場合は、前述の(3)~(10)の操作を繰り返します。

### 11 パワースイッチOFF

変更が終わりましたら、パワースイッチをOFFにして作業を完了します。

# 9. ペンスキャナー(別売)の使用法

(EP-950Gのみ)

## 1 コピー発行

〈例題〉 パターンNo.21          バーコード4 9 1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 9  
予め14ページ『1 ノーマル発行』の操作により、  
スキャン用のラベルを発行しておいて下さい。

## 1 ペンスキャナーの接続

ペンスキャナーを本体のペンコネクタに接続します。この時コネクタの方向をよく確認し、無理に押込まないようにして下さい。

## 2 パワースイッチONとモードの選択

へ°ン モード" コピ°ー→**1**  
メニュー→・, ヨヒ"タ"シ→2

「ペンモード」の初期画面

パワースイッチをONします。  
ディスプレイにラベル発行の初期画面が表示されますので **⊙** キーを押し「メニューモード」にして「ペンモード」にします。

## 3 操作内容の選択

へ°ン モード" コピ°ー→**1**  
メニュー→・, ヨヒ"タ"シ→2

「コピー発行」、「呼び出し発行」、の選択待ちの状態です。  
ここでは、コピー発行をしますので、**①** キーを押します。

## 4 ペンスキャン

へ°ン スキャンク"! P21  
\* コピ°ー \*

ペンスキャン待ちの状態です。  
用意したラベルをペンスキャナーで、スキャンします。  
この時、ペンスキャナーのスイッチを押し、スキャナー先端の点灯を確認します。

## 5 パターンNo.の入力

4 9 1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 9 P **2** 1  
コピ°ー パ°ター ?

プリントパターンNo.の入力待ちの状態です。  
例の通り、パターンNo.21をプリントします。  
**②** **①** **E** とキーを押します。



## 6 パターンの確認

コピ°ー	ハ°ターン	P 2 1
1 3 - P L U		■ E

プリントパターンの確認待ちの状態です。  
確認して、**E** キーを押します。

## 7 ラベルの発行

4 9 1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 9 P 2 1
*****000

ラベル発行待ちの状態です。  
ラベルの発行は、16ページの「8 発行枚数の入力/ラベルの発行」の項を参照して、同様の方法で操作して下さい。

## 8 パワースイッチOFF

ラベル発行が終わりましたら、パワースイッチをOFFにして作業を完了します。

## 2 スキャニングによるプリセットからの発行

〈例題〉 22ページ『3 プリセットからの発行』では、呼び出しNo.1をキー入力により、プリセットデータから呼出してラベル発行を行いました。ここでは、ペンスキャナーを利用してバーコードの読取りによりラベル発行を行いません。

予め22ページ『3 プリセットからの発行』を参照し、同様の操作により、スキャニング用ラベルを発行しておいて下さい。

### 1 ペンスキャナーの接続

ペンスキャナーを本体のペンコネクタに接続します。この時コネクタの方向をよく確認し、無理に押込まないようにして下さい。

### 2 パワースイッチONとモードの選択

へ°ン モード" コピ° → 1  
メニュー→・, ヨヒ"タ"シ → 2

「ペンモード」の初期画面

パワースイッチをONにします。  
ディスプレイにラベル発行の初期画面が表示されますので (●) キーを押し「メニューモード」にして「ペンモード」にします。

### 3 操作内容の選択

へ°ン モード" コピ° → 1  
メニュー→・, ヨヒ"タ"シ → 2

「コピー発行」、「呼び出し発行」、の選択待ちの状態です。  
ここでは、呼び出し発行をします。ので (2) キーを押します。

### 4 ペンスキャニング

へ°ン スキャニング"! P 2 1  
\* ヨヒ"タ"シ \*

ペンスキャニング待ちの状態です。  
予め用意したラベルをスキャニングします。  
この時スキャナーのスイッチをONし、スキャナー先端の点灯を確認して下さい。  
さい。

### 5 プリセットのサーチ

2 1 2 1 5 3 0 8 \* \* \* \* \*  
サーチ チュウテ"ス

プリセットのサーチ中の状態です。  
このまま、画面表示が変わるまで暫くお待ち下さい。画面が変わったら次項に進みます。

### 注意

未登録のバーコードをスキャンした場合は、プリセットデーターをサーチ後、右のような表示になります。  
登録されているバーコードをスキャンしなおして下さい。

4 9 1 2 3 4 5 1 2 3 4 5 9  
ミトウロク テス

ヘン スキャンニング"! P 2 1  
\* ヨヒ"タ"シ \*

## 6 価格変更

イヨカン M3コ 0001  
123\*¥ 530\*\*\*000\*

価格の変更がなければ **E** キーを押して発行待ちの状態にします。

## 7 ラベルの発行

イヨカン M3コ 0001  
123\*1530\*\*\*000¥

ラベルの発行待ちの状態です。  
ラベルの発行は、16ページの「8発行枚数の入力/ラベルの発行」の項を参照し、同様の方法で操作して下さい。

## 8 パワースイッチOFF

ラベル発行が終わりましたら、パワースイッチをOFFにして作業を完了します。

### 3 マークダウン発行

〈例題〉 パターンNo. S 03 値引き率 30%  
C MメッセージNo.07 端数処理 10円未満切捨て

#### 1 ペンスキャナーの接続

ペンスキャナーを本体のペンコネクタに接続します。この時コネクタの方向をよく確認し、無理に押し込まないようにして下さい。

#### 2 パワースイッチONとモードの選択

マークダウン モード S 0 **1**  
メニューモード →

「マークダウンモード」の初期画面

パワースイッチをONにします。  
ディスプレイにラベル発行の初期画面が表示されますので **⓪** キーを押し「メニューモード」にして「マークダウンモード」にします。

#### 3 パターンNo.の入力

マークダウン モード S **0 1**  
メニューモード →

パターンNo.の入力待ちの状態です。  
S01は前回まで使用していたパターンNo.です。  
プリントパターン表より選択してNo.を入力します。  
例として、S03を使用します。  
**⓪ ③ E** とキーを押します。

#### 4 パターンの確認

マークダウン モード S 0 3  
1 3 N - P ( P / C アリ ) **E**

バーコードのタイプ、内容の確認です。  
確認して **E** キーを押します。

#### 5 値引き率の入力

ネヒキリツ? S 0 3  
**■** % → E

値引き率の入力待ち状態です。  
例として、30%引きにします。  
**③ ① E** とキーを押します。

## 6 値引き後端数処理の設定

ハスウヒキ ?	S 0 3
0 = 0    1 0 = 1    1 0 0 = 2	

端数処理の入力待ちの状態です。

画面表示の意味は次の通りです。

0 = 0    : 0 入力で円未満切捨て

1 0 = 1    : 1 入力で十円未満切捨て

1 0 0 = 1 : 2 入力で百円未満切捨て

例として、10 円未満を切り捨てます。

① (E) とキーを押します。

## 7 CMメッセージの設定

CMメッセージ ?	S 0 3
■ → E	

CMメッセージの入力待ちの状態です。

パターン表よりCMメッセージを選びNo.を入力します。

例として、No. 7の「お買得品」を入力します。

⑦ (E) とキーを押します。

## 8 CMメッセージの確認

CMメッセージ ?	S 0 3
オカイトク ヒン → ■	

CMメッセージの確認です。

ディスプレイの表示はカタカナですが、印字はパターン表通り漢字かな混じり文になります。

確認して、(E) キーを押します。

## 9 ペンスキャニング

ペンスキャニング !	S 0 3
* マーク タウン *	

ペンスキャニング待ちの状態です。

マークダウンするバーコードをスキャニングします。

この時、スキャナーのスイッチをONしスキャナー先端の点灯を確認します。

## 10 ラベルの発行

0	2	1	2	3	4	5	1	2	4	5	0	5	S	0	3
3	0	%	ヒ	キ	*	¥	2	4	5	0	*	0	0	0	*

ラベルの発行待ちの状態です。

ラベルの発行は、16ページ「8発行枚数の入力/ラベルの発行」の項を参照し、同様の方法で操作して下さい。

### 注意

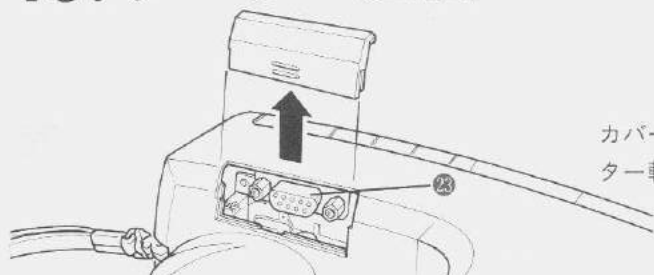
マークダウンの標準仕様は、NON PLU-13桁 価格4桁 プライスチェックデジット有りの値札に対応出来ます。

これ以外のコード体系の値札に対しては、別途に特殊仕様として申し受けます。

## 11 パワースイッチOFF

マークダウンが終わりましたら、パワースイッチをOFFにして作業を完了します。

# 10. データー通信



カバーを外し、Dサブコネクター<sup>23</sup>にデータ転送ケーブルを接続します。

## 1 プリセットデータの転送(送信)

### 1 データー転送ケーブルの接続

データ転送ケーブル(DC-09)(別売)で、別のEP-900Gまたは950Gと接続します。

### 2 パワースイッチONとモードの選択

ツウシンモード"      テンソウ→**■**  
メニュー→・          シ"ュシン→2

「ツウシンモード」の初期画面

パワースイッチをONします。

ディスプレイにラベル発行の初期画面が表示されますので **●** キーを押し「メニューモード」にして「ツウシンモード」にします。

### 3 作業内容の確認

レコート"      テンソウシマス  
STOP→P          OK→**■**

送信待ちの状態です。

受信側の準備が出来次第 **E** キーを押します。

### 4 データーの転送

ソウシン・チュウ      STOP→**■**  
シハ"ラク      オマチ      クタ"サイ

送信中の状態です。

このまま、送信が終わり画面が変わるまでお待ち下さい。

### 5 送信の完了

ソウシン      カンリョウ  
メニュー→・      サイテンソウ→**■**

送信が終わりました。

パワースイッチをOFFにして作業完了です。

## 2 プリセットデータの受信

### 1 通信ケーブル接続

データ転送ケーブル(DC-09)(別売)で、別のEP-900Gまたは950Gと接続します。

### 2 パワースイッチONとモードの選択

ツウシンモード" テンソウ→**1**  
メニュー→・ シュシン→2

「ツウシンモード」の初期画面

パワースイッチをONにします。  
ディスプレイにラベル発行の初期画面が表示されますので **1** キーを押し「メニューモード」にして「ツウシンモード」にします。  
**2** キーを押しします。

### 3 プリセット消去の確認

レコード"シ"ュシンシマス  
フ°リセット キエマス!OK→**E**

プリセットデータの受信に先立って、現在プリセットされているデータが総てクリアされます。  
確認の上 **E** キーを押しします。

### 4 受信待ち

シ"ュシン スタンハ"イ  
STOP→**P**

受信待ちの状態です。  
相手方の受信準備が出来ましたので、プリセット内容を送信側より送信して下さい。

### 5 プリセットデータの受信

シ"ュシン チュウ  
STOP→**P**

受信中の状態です。  
このまま画面の表示が変わるまでお待ち下さい。

### 6 受信の完了

シ"ュシン シュウリョウ  
メニュー→・ サイシ"ュシン→**P**

受信が終わりました。  
パワースイッチをOFFにして作業完了です。

#### 注意

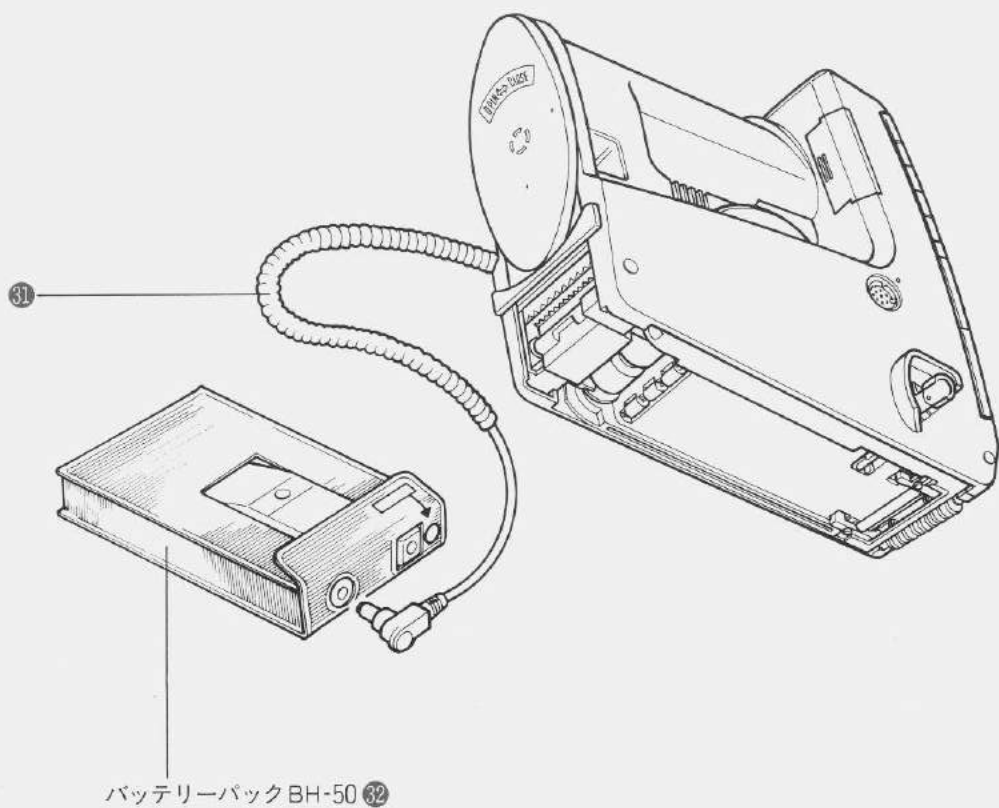
本ページ「2プリセットデータの受信」では、EP-900G/950Gからの受信について説明しましたが、パソコンから受信する場合は、データ転送ケーブル(DC-08)が通信ケーブル(DC-09)に変わるだけです。また送信側のEP-900G/950Gの操作は、35ページ「1プリセットデータの転送(送信)」と全く同じです。



# 11. 電源仕様が、 携帯型のバッテリーパックの場合

本体から出ているカールコード③①のコンネクターを、バッテリーパックBH-50③②の出力用受口に接続して下さい。

このバッテリーパックは、ポケットに入れるか、ベルトに止めると邪魔になりません。  
(その他の操作・機能は、これまでの説明と何等変わりません。)



## 12. 日常の点検及び清掃

### 1 印字の点検(テストパターンの発行)

(1)ラベルの発行を行う際、まず初めにテストパターンのラベルを発行します。印字ヘッドが正常に働き、正しいJANコードラベルが発行出来るかどうか点検して下さい。

(2)テストパターンの発行方法は、14ページ「1ノーマル発行」の要領で、パターンNo. P95または、P96を使用して行います。パターンNo. P95は32mm幅のラベルを使用している時のテストパターンです。パターンNo. P96は24mm幅のラベルを使用している時のテストパターンです。セットしてあるラベルのサイズ用のパターンNo.を入力し **(E)** キーを押せばテストパターンのラベルが1枚発行されます。さらに **(E)** キーを押せばその都度1枚ずつ発行されます。

(3)右上の図のサンプルを参考にして、発行したテストパターンが正常か異常かを確認して下さい。

テストパターンの一部に縦線状に印字しない箇所(白線)が1箇所でもあれば異常です。

(4)異常の際は、そのまま使用しないで下さい。必ず、お買い上げの販売店までサービスコールして下さい。

パターンNo.95



(正常)



(異常)

パターンNo.96



(正常)

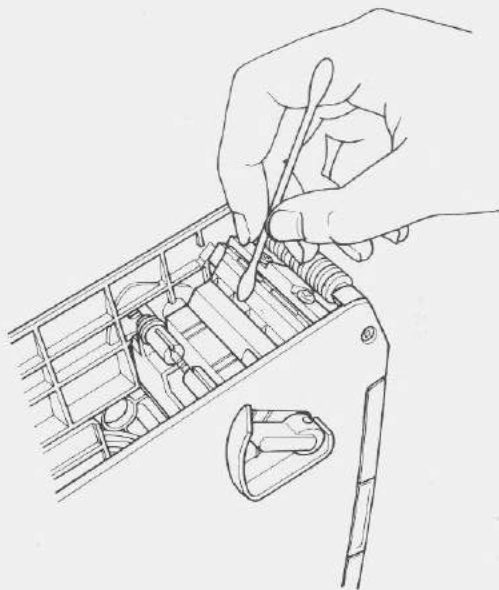


(異常)

#### 注意

- 24mm幅のラベルを使用中にパターンNo. 95のラベル発行を行いますと印字ヘッドが故障し、印字不良の原因となりますので、絶対に避けて下さい。
- この点検は、毎日必ず行って下さい。万一バーコードのプリントが不完全な状態で商品に貼付されますと、レジの読取りが不能となります。

## 2 印字ヘッドの清掃



印字ヘッドにラベルの糊やゴミが付着すると正常な印字が出来なくなります。

毎日の使用の際に、印字ヘッドにゴミなどが付着していないか点検します。

付着物があれば、綿棒か柔らかい布にメタノールを適量浸透させて、ていねいに拭き取って下さい。

薄め液やシンナーなどは使用しないで下さい。

### 注意

綿棒や柔らかい布以外は絶対に使用しないで下さい。

ドライバーなどを使用しますと、印字ヘッドを損傷する原因になることがあります。



## 3 ラベルの通路の清掃













ラベルの通路に糊やゴミが付着してきますと紙送りに抵抗が加わり、電池が速く消耗したり、正常なラベルが発行できなくなります。

ゴミなどが付着してきましたら、メチルアルコール（メタノール）を浸透させた柔らかい布できれいに拭き取って下さい。

注) ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は、本体、プラテンローラーなどを溶かすことがあります、トラベルの原因になりますので、**絶対に使用しない**で下さい。

# 13. 特殊プリントパターン表

パターン No.	P95	パターン No.	P96	パターン No.	P99
プリント見本	備考	プリント見本	備考	備考	
	サーマルヘッド テストパターン 32mm幅専用		サーマルヘッド テストパターン 24mm幅専用	白紙ラベル発行 (位置調整)	

パターンNo.	内容と画面表示	備 作 (キー入力)																	
P 9 2	使用ラベルの選択 ラベル? <input type="checkbox"/> P 9 2 コウセイ=0 ショウシツ=1	(P 9 2 E 3 E) の入力で左記の画面が現われます。 ①または①とEを入力します。																	
P 9 2	¥マークのプリント削除 カカクマーク? <input type="checkbox"/> P 9 2 サクシヨ=0 ¥=1	(P 9 2 E 2 0 E) の入力で左記の画面が現われます。 ①または①とEを入力します。 (注) 画面表示の¥マークは削除されません。																	
P 9 3	電源の選択 テンケン ? <input type="checkbox"/> P 9 3 テンチ=1 コンバーター=0	(P 9 3 E) の入力で左記の画面が現われます。 ①または①とEを入力します。 (注) グリップバッテリー/バッテリーパックを使用する場合は、 コンバーターを選択しないで下さい。「デンチガ オワリマシタ」の警告が表示されなくなります。																	
P 9 4	登録Noのプリントの有無 (1) トワロクNo インサツ? <input type="checkbox"/> P 9 4 アリ=1 ナシ=0 ヒョウシ ユン	(P 9 4 E) の入力で左記(1)の画面が現われます。 (1)標準 (品名の無い) プリントパターンで ①または①とE を入力します。																	
	(2) トワロクNo インサツ? <input type="checkbox"/> P 9 4 アリ=1 ナシ=0 (ヒンメイ)	(2)次に、品名プリントパターンで ①または①とEを入力 します。																	
P 9 4	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">標準パターンNo.P33の場合</th> <th colspan="2">品名パターンNo.P42の場合</th> </tr> <tr> <th>登録No.プリントあり</th> <th>登録No.プリント無し</th> <th>登録No.プリントあり</th> <th>登録No.プリント無し</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>32 T 28ラベル</td> <td>32 T 25ラベル</td> <td>32 T 25ラベル</td> <td>32 T 25ラベル</td> </tr> </tbody> </table>		標準パターンNo.P33の場合		品名パターンNo.P42の場合		登録No.プリントあり	登録No.プリント無し	登録No.プリントあり	登録No.プリント無し					32 T 28ラベル	32 T 25ラベル	32 T 25ラベル	32 T 25ラベル	
	標準パターンNo.P33の場合		品名パターンNo.P42の場合																
	登録No.プリントあり	登録No.プリント無し	登録No.プリントあり	登録No.プリント無し															
																			
32 T 28ラベル	32 T 25ラベル	32 T 25ラベル	32 T 25ラベル																
(注) 標準 (品名の無い) プリントパターンで「1」の登録No印字ありを選択している場合は、登録Noの印字 スペースのあるピッチの長いラベルをご使用下さい。 但し、プリントパターンによっては、P 9 7のスペースの削除処理を行えば、短いラベルでも使用可 能になります。(次ページの応用例を参照)																			

パターンNo.	内容と画面表示	操 作 (キー入力)					
P 97	スペースの削除処理 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             スヘ°ースシヨリ ? ■ P 9 7              スヘ°ース=1 サクシ"ヨ=0           </div>	(P) (9) (7) (E)の入力で左記の画面が現われます。 ラベルに対して名入れスペースが広く必要な場合は (1) を入力し、 短いラベルを使用する場合は (0) を入力して (E) キーを押します。					
	(例) パターンNo.27のとき <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>(基本パターン)</td> <td>(品番etc.の削除例)</td> <td>(品番etc.のスペース例)</td> </tr> <tr> <td>  </td> <td>  </td> <td>  </td> </tr> </table>	(基本パターン)	(品番etc.の削除例)	(品番etc.のスペース例)			
(基本パターン)	(品番etc.の削除例)	(品番etc.のスペース例)					
							

(応用例) 下記のように例えば、P33に登録No.を表示するには、32T28のラベルが必要ですが、P35を選び、品番etc.の項目を削除処理すれば32T25のラベルでも対応可能となり経済的です。



# 14. 文字リスト

② キーを押すと、下の順序で画面に表示し、⑧ キーを押すと逆の順序で表示します。

□□□□□□□□□□□□\*P47  
アイウエオカキクケコサシスセソタ

□□□□□□□□□□□□\*P47  
a b c d e f g h i j k l m n o p

□□□□□□□□□□□□\*P47  
チツテトナニヌネノハヒフヘホマミ

□□□□□□□□□□□□\*P47  
q r s t u v w x y z a o u n x @

□□□□□□□□□□□□\*P47  
ムメモヤユヨラリルレロワン"°ー

□□□□□□□□□□□□\*P47  
A B C D E F G H I J K L M N O P

□□□□□□□□□□□□\*P47  
アイウエオヤユヨツヲ 。 「 」 、 ・

□□□□□□□□□□□□\*P47  
Q R S T U V W X Y Z ( ) { } ¢ £

□□□□□□□□□□□□\*P47  
! " # \$ % & ' ( ) < > \* + , - /

□□□□□□□□□□□□\*P47  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . : ; = ?

□□□□□□□□□□□□\*P47  
α ε δ θ Ω Σ { . ∞ \_ ¥ → ←

# 15. 作動不良と点検箇所の早見表

作動不良内容	点検箇所
A. パワースイッチをONしても液晶パネルに表示が現れない。	a) グリップバッテリー⑩は装着されていますか？ b) ボトムフレーム⑧は閉まっていますか？ c) グリップバッテリー⑩は充電されていますか？ (バッテリーパック⑫も同様です)
B. 液晶ディスプレイに次の表示が現れた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ラヘルカ セイカクニ セットサレテイマセン</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">テンチカ オワリマシタ</div>	a) ラベルがセットされていますか？ b) ラベルが終了していませんか？ c) グリップバッテリー/バッテリーパックの電池容量を確認して下さい。
C. スタートスイッチを押してもラベル発行をしない。	a) 液晶ディスプレイの表示はカーソル点滅位置が最終ポジションに来ていますか？ (P16参照)
D. ラベル発行しても印字しないで白紙のラベルが発行される。	a) データの入力を忘れていませんか？ ディスプレイの表示を確認して下さい。 b) ボトムフレーム⑧は完全に閉まっていますか？ c) ラベルは専用のサーマルラベルがセットされていますか？
E. ラベルが1枚ずつ剥がれて発行されない。	a) ラベルが正しくセットされているか確認して下さい。 台紙を剝離ピン⑦とラベル取り受部⑫の矢印との間に通していますか？ b) ラベルのカットは1枚ずつ切れていますか？
F. ラベルを発行すると連続してラベルが発行されてしまう。	a) スタートスイッチ⑮を押したままの状態になっていませんか？ b) 液晶ディスプレイの発行枚数の表示はどうなっていますか？ 設定枚数を「0」にして下さい。
G. ラベルを発行すると印字の長さが短くつまった印字になってしまう。	a) ラベル幅と本体のラベルガイドローラー④などの幅調整が正しく合っていますか？ (8~10ページ参照) b) ラベル通路に糊やゴミが付着していませんか？ c) 印字ヘッドに糊やゴミが付着していませんか？ d) ラベルの台紙がテープカッター⑬の内側に付着していませんか？

〈お願い〉 上記の処理で直らない場合、または上記A～G以外の動作不良の場合は、お買い上げいただいた販売店にご連絡下さいませますようお願いいたします。

## 16. 仕様一覧

重量・寸法	790g (ラベル、バッテリーを含まず) 高さ19.7cm 幅8.0cm 長さ19.7cm	
印字方式	サーマル発色方式	
印字内容	JANコード (8桁、13桁) またはEAN、UPC-A (縮小率80%) 商品名最大12文字 (カタカナ、アルファベット、数字、記号) 呼び出し番号 (3桁)、品番または日付、内容量など (最大12桁) 価格 (最大6桁)、部門 (最大4桁)	
印字速度	毎分90枚~150枚 (パターン、ラベルサイズにより異なる)	
表示方式	ドットマトリックス液晶16文字×2行	
表示文字	数字、アルファベット、カタカナ、記号	
入力方式	マニュアルキーボード16キー、対話方式	
メモリー容量	ROM 64Kバイト RAM 128Kバイト	
伝送速度	9600bps	
電源	メイン	Ni-Cd電池 (充電式) またはAC/DCコンバーター
	バックアップ	リチウム電池



## 17. オプション

品名	型番	備考
高速用バッテリーパック	BH-50	キャリングケース付
高速用バッテリーチャージャー	CH-15	
高速用バッテリーチャージャー	CH-20	
AC/DCコンバーター	CV-1003	ケーブル、コネクタ付き
コンバーターケーブル	EC-20	
キャリングケース	CC-50	BH-50
通信ケーブル	DC-08	RS-232C準拠
データ転送ケーブル	DC-09	
ペンスキャナー	NP-01	
EP-900G/950G用ホルスター	LH-1010	ペンスキャナー用ホルダー付

# 電波障害自主規制について

この装置は、第一種情報装置（商業地域において使用されるべき情報装置）で、商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

なお、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

取扱説明書に従って、正しい取り扱いをして下さい。

## **お願い** Ni-Cdバッテリーのリサイクル

グリップバッテリー／バッテリーパックは、不要になりましたら、当社へお届け下さい。

### **ご注意**

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告無しに変更することがあります。
3. 本書は内容について万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがございましたらご連絡下さい。
4. 運用した結果について3項にかかわらず責任を負いかねますので、予めご了承下さい。

# MEMO



株式会社  
**新盛**インダストリーズ

本社  
東京都北区堀船4-12-15 〒114-0004  
TEL(03)3913-0131 FAX(03)3913-9607  
大阪営業所  
大阪市中央区十二軒町4-2 岸本産業谷町ビル 〒540-0015  
TEL(06)765-4381 FAX(06)765-4382

MM0405